

同窓会長挨拶



同窓会会長 御室健一郎(高16回)

盛夏の候、同窓の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は、同窓会活動に格別なるご理解、ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

同窓会報への寄稿も三回目となるわけですが、さてどんな内容を書こうかと頭を悩ませている最中、熊本県を中心とする九州の大規模地震災害が発生いたしました。犠牲となられた方々には謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災地の皆様にお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧を願うところです。

今回の震災が、かねてより警鐘が鳴らされている南海トラフ、東南海地震との連動性がある



発行 静岡県立浜松西高等学校同窓会
発行人 御室健一郎
題字 町田晃
編集 同窓会報編集委員会
浜松市中区西伊場町3番1号
電話 053-456-0662
印刷 (有) ケーエス企画
発行部数 15,300
浜二中卒業生 2,041名
浜西高卒業生 24,543名
(内女子5,427名)
内27年度卒業生242名(110名)

るのかどうかはわからないようですが、阪神淡路大震災、東日本大震災、そして今回と続く状況に鑑みますと、もはや「天災は忘れた頃にやってくる」とは言えなくなっている感を抱かざるを得ません。いづれにしても、当地域においては、大地震が30年以内に発生する確率が70%とされている予測がある中、今一度、防災に対する意識を高めるとともに、具体的な備えを行っていかなくてはならないと思います。

さて、その一方で、当会報がお手元に届く頃には、おそらく日本中がリオデジャネイロオリンピックの話題で盛り上がっていることでしょう。さらに2020年に控える東京オリンピックに向けて、これまでにも増して注目度は高まるはずで

果たして日本選手団はメダルをいくつ獲得できるのか、あるいは、世界各国の鍛えぬかれたアスリート達がどんなパフォーマンスを見せてくれるのか、この原稿を執筆している今から、こはやくも心は躍ります。また、こうしたスポーツイベントが行われる度に、マスコミ報道を通じてクローズアップされるのが、選手達のインタビューでの

発言です。水泳平泳ぎで金メダルを獲得した弱冠14歳の岩崎恭子さんが口にした「今まで生きてきた中で一番幸せです」女子マラソン有森裕子さんの「初めて自分自分を褒めたい」男子水泳リレーの松田丈志さんが発した「(北島)康介さんを手ぶらで帰らせるわけにはいかない」など、あげればキリがありませんが、戦いを終えて過酷なプレッシャーから解放された選手の口から飛び出す言葉には、ついつい心を揺さぶられます。

ただ、近年よく耳にするようになったものが、どうしても違和感を覚えるのが「日本の皆さんに元気を与えたい、勇気を与えたい」というフレーズです。いつから使われ始めたのか定かではありませんが、どうやら、東日本大震災以降に顕著になった印象を受けています。いかにも日本人らしい言葉といえるのかもありませんが、それでも元気や勇気は「与えてもらう」ものではないよなあ、と思いつつ、いざれ再び母校からオリンピック選手が誕生し、全力を発揮する姿を通して、我々を「元気を願っています」



メインテーマは【のぞむ】。
伝統ある西山魂が一同に会し、
2017年のスタートにふさわしい、
活気溢れる『望』を掲げ、共有していきます。
皆様のご参加とご理解とご協力のほど
何卒よろしく願っています！

～浜松西高2017新春の集い～

- 日時：平成29年1月2日(月) / 15:00～(受付14:00～)
- 場所：グランドホテル浜松
- 会費：8,000円(高49回卒以前) / 5,000円(高50回卒以後)
- 主催：浜松西高等学校同窓会
- 問合せ：チケットに関すること ▶ 090-9316-8763 (チケット部・小橋)
協賛広告に関すること ▶ 090-4238-3961 (広告部・大石)

【運営】
浜松西高49回(平成9年)卒同窓会幹事会
(幹事会代表・小名木 勇人 ▶ 090-2180-1383)
FAX: 053-459-0818
MAIL: access.hamanishi49@gmail.com



望
のぞむ
2017年
静岡県立浜松西高等学校同窓会
新春の集い
西山魂が集い、望む、新年最初の恒例行事
2017.1.2(月) | グランドホテル浜松
開演 15:00(受付14:00～) | 浜松市中区東伊場1-3-1

平成二十八年 総会 報告

6月11日(土)午後4時より、グランドホテル浜松鳳西の間にて平成28年度同窓会総会を開催され60名の会員の出席を得た。御室健一郎同窓会長、三科守名誉会長(校長)の挨拶に続き、今年度の議事について協議がなされた。

◆議事

- (一) 平成27年度同窓会事業報告
- (二) 平成27年度同窓会一般会計決算報告、及び同監査報告
- (三) 「2016年新春のつどい」事業報告、決算報告、及び同監査報告
- (四) 役員改選
- (五) 平成28年度同窓会事業計画案
- (六) 平成28年度同窓会一般予算案
- (七) 「2017年新春のつどい」事業計画

◇役員改選

議事の第4号議案にて役員改選案が提示された。選考委員を代表して高3回鈴木富士男氏より新年度委員の案が発表された。御室会長をはじめとする新執行部が拍手で承認された。今後の同窓会運営に期待が持てる実力のある面々で構成されている。新執行部の役員は以下のとおり。

御室健一郎 (高16回)
小田木基行 (高22回)
齊藤 薫 (高23回)
薩川 敏 (高31回)
竹内 良訓 (高32回)
小名木 勇人 (高49回)

副会長
御室健一郎 (高16回)
小田木基行 (高22回)
齊藤 薫 (高23回)
薩川 敏 (高31回)
竹内 良訓 (高32回)
小名木 勇人 (高49回)



岡本紗由美 (高49回)
辻村 昌彦 (高26回)
米藏 (高12回)
前田 米藏 (高12回)
大塚 哲雄 (高14回)
事業計画

◇2017年新春の集い

小名木代表幹事より挨拶があり、「望みのぞむ」をメインテーマとし、交流・おもてなしを前面にうちだし、女城主井伊直虎のごとく遠州女性に注目して優しさ、柔軟さを表したい。託児所の設置も検討している。先輩方の築き上げた素晴らしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい伝統を築いていきたいとの願いが発表された。

総会終了後は川島順三氏(高6回)の乾杯の発声で恒例の懇親会が始まり、和やかに歓談する姿が随所で見られた。前田米藏氏(高12回)先導による校歌斉唱では高校時代に戻ったかのような歌声が響いた。

《新役員のみなさん》



副会長
竹内 良訓



副会長
薩川 敏



副会長
齊藤 薫



副会長/会報編集長
小田木基行



会長
御室 健一郎



会計監査
大塚 哲雄



会計監査
前田 米藏



会計
辻村 昌彦



副会長/「2017年新春の集い」副代表
岡本紗由美



副会長/「2017年新春の集い」代表
小名木 勇人

同窓生の皆様へ

天野浩さんの偉業を後世に繋げるよう学校内に記念碑を作りました。昨年に引き続き同窓生皆様の気持ちを結集したいと思います。10月末までに右記の銀行振込みか同封の振込用紙をご利用ください。振込みの折「浜西太郎31」のように氏名と卒業回数を明記してください。天野さんご本人に協力者名簿をお渡しします。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

同窓会執行部一同

静岡銀行 蛸塚支店
普通預金 No. 0579728

浜松信用金庫 東伊場支店
普通預金 No. 2078057

名義はいずれも
『静岡県立浜松西高等学校同窓会寄付金口
会長 御室健一郎』

平成27年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 15,871,364円
支出総額 7,647,062円
差引残額 8,224,302円

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額(A), 決算額(B), 比較増減額(B-A), 備考. Rows include 繰越金, 入会金, 基金利子配分金, 繰入金, 雑収入, エアコン設備使用料, 合計.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額(A), 決算額(B), 比較増減額(A-B), 備考. Rows include 1事務費, 2会議費, 3事業費, 4予備費, 合計.

平成28年3月31日 静岡県立浜松西高等学校同窓会 会長 御室健一郎
以上のとおり報告します。 会計 鈴木敏勝
上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。
平成28年5月17日 会計監査 前田米蔵 会計監査 市川静子

平成28年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計予算書

収入総額 13,886,202円
支出総額 13,886,202円
差引残額 0円

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 繰越金, 入会金, 基金利子配分金, 繰入金, 雑収入, エアコン設備使用料, 合計.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1事務費, 2会議費, 3事業費, 4予備費, 合計.

*科目間の流用を認める

ノーベル物理学賞受賞
記念碑除幕式

2014年、青色発光ダイオード(LED)開発で天野浩氏がノーベル物理学賞を受賞したことを受け、浜松西高同窓会役員会全会一致で制作を決定した記念碑が2015年12月31日浜松西高東坂上に設置され、2016年1月2日寒風吹く青空の下、除幕式が行われました。薩川敏同窓副会長の司会で進められた除幕式では、天野浩氏ご本人はじめ、母・祥子さん、奥様・香寿美さん、御室健一郎同窓会会長、伊藤孝同窓会後援会長、木村功校長、鈴木康友浜松市長、舟橋文彦PTA会長、生徒代表(塚本由記さん、水谷海斗さん)、作者・綺爽聖昭(きさせいしゅう)さんらが並び、テープカットが行われました。モニュメントが現れると、約200人の在校生や卒業生から大きな拍手がわき起こりました。

御室健一郎同窓会長は「モニュメントを見て偉業を継いでもらいたい。継いでくれる人材を育ててもらいたい」と語り、木村功校長は「末永く生徒の心に残り、東坂9合目7分にある記念碑を毎日のツールとして眺め、頂点を極めるためにたゆまぬ努力をする姿と重なることを願っています」と挨拶されました。最後にマイクを手にした天野氏は「皆さん、寒くないですか?大丈夫ですか?まずは皆様にお礼申し上げます。私の名前がありませんが、本当はこれではなく、同窓会全体から、教員・学校の皆様への熱いメッセージが込められたモニュメントだと思っております」と締めくくられました。

記念碑はアルミニウム铸造で、高さ1.8M幅1.2M。青色LEDの材料となる窒化ガリウムの分子モデルと、天野氏が自然界で最も美しいと評す

記念碑を作ることにあたりまして同窓生の皆様から温かいお気持ちをご頂戴しました。御礼申し上げます。是非一度、母校に足を運び、ご高覧いただければ幸いです。



校長先生挨拶



校長 三科 守

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

この四月、浜松西高等学校・同中等部に着任いたしました。大正十三年の開校以来、幾多の有為ある人材を世に送り出してきた、輝かしい歴史と伝統を有する学校の長として、身の引き締まる思いです。着任してしばらくし、校長室の書棚に、初代校長である森田與惣之助先生に関係する諸資料のあるのを知りました。その教育方針として「生徒ヲシテ道徳ノ本義ニ基キ又各自ノ境遇個性及志ニ應シ健實ナル學藝ヲ修得シ之ヲ活用シ之ヲ創造シ得ル強健ナル身體ト博大剛健ナル精神トヲ得シメ」ることを目的とし、「此ノ目的ヲ達セン為ニ生徒ノ個性及志ト自覺自習自治ヲ重スル」ことを謳い、その理念の具体的な実践のため、校訓「知・仁・勇」に結実されるこ

ととなる知育・徳育・體育の方針を定めています。

格調高く重厚な漢文調の邦文ですが、英語教授法の研究者でもあった森田校長は、同時にそのすべてを明晰な英文（現在の学校教育では教えられなくなりました筆記体で）でも著しています。

さらに校長自らが修身、漢文、英語において教鞭をとり、当時としては斬新な英会話の時間を設けるなど、国際化教育も先取りしています。

初代校長の学校運営にかけた渾身の文章を拝読し、また、自ら教育実践に臨む姿勢を思うとき、新しい学校の創立を委ねられた人間の、並々ならぬ信念と理想、情熱と使命感が、九十年の時を超え、鮮烈に伝わってまいります。「知・仁・勇」を根幹に据えたその教えは、手探りの中で自分の未来を切り開こうと、日々澁刺として課題に取り組み、現在の生徒たちのなかにも息づいています。

近年、組織マネジメント論が盛んです。学校経営においても、校長はまず経営計画実現のため、ヒト、モノ、予算、情報等を合理的・効率的に活用し、可能な限り教育成果をあげるべく円滑な組織運営を求められます。責任者として、そのとおりで思います。しかし、それとともに、自らも教壇に立ち、掲げた理想の実現のため、生徒一人ひとりを薫陶した森田校長の姿を通して、組織をマネジメントする管理職である前に、まず自

らが一人の教育者として生徒を導く存在であるべきという、教育の原点を教えられ、襟を正すところへです。

本年は中高一貫十五年目となります。六年或いは三年間、それぞれに与えられた在学期間の中で、生徒一人ひとりが自らの可能性を最大限に開花できるよう、微力ではありますが、努力する所存です。

今後とも温かな御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

2016年
新春の集い
盛大に開催

代表幹事 岡本周二（高48回）

2016年1月2日、グランドホテル浜松にて、毎年恒例の「新春の集い」を盛大に開催できましたことを心より御礼申し上げます。

今回の新春の集いのテーマは、「翔（羽ばたく）」でした。浜松西高といえば、皆、あの坂を上って高校生活を送ってきたわけですね。あの西山台から社会に羽ばたき活躍されている同窓生を紹介するとともに、これから羽ばたこうとしている同窓生の方々に応援する、そんな集いにしたいという想いのもと、1年間、同級生の仲間とともに活動を進めて参りました。新春の集いの本番開催までの間に、同級生の仲間たちが他分野

にわたって活躍していることを知りました。その分野は、会社経営者、医師、公認会計士、税理士、帽子のデザイナー、経営コンサルタント、酒蔵の杜氏等々、多岐に渡ります。

さて、今回の新春の集いには、前回に引き続き、ノーベル物理学賞受賞の天野浩氏（高31回）にご来場いただくことができました。その影響もあってか、非常に多くの同窓生の皆様にご来場をいただくことができました。

今回は、その構成を第一部、第二部に分けて開催しました。第一部は「ノーベル物理学賞受賞記念碑 除幕記念 天野浩さんと語る会」、第二部は例年通りの宴会形式として、執り行われました。

第一部では、当日に行われた天野浩教授のノーベル物理学賞受賞記念碑の除幕式の様子を撮影したビデオ映像を、会場にて放映しました。また、記念碑の制作に関与された薩川敏同窓会副会長（高31回）から記念碑のコンセプト、デザインに関する説明をいただきました。その後、天野さんからは記念碑に関する感謝のお言葉とともに、最近の活動についてお話を頂戴しました。

第二部では冒頭、恒例の校歌斉唱に先立ち、幹事学年の豊田将志君（東京芸術大学にて声楽を専攻、現在も市民オペラ参加やソロでのライブ活動などの実績多数）による校歌独唱をしてもらいました。非常に伸びやか

で迫力のある歌声に会場からは感嘆の声が上がりました。



還暦である高26回卒の先輩方を代表して、大塚功氏からご挨拶をいただくとともに、同級生約百人による豪快な鏡割りの後、盛大に乾杯が行われました。

続いて、毎年恒例の新春大抽選会では、ゆるキャラグランプリ2015で見事グランプリを獲得した浜松市マスコットキャラクター「出世大名家康くん」が登場し、家康くんによる抽選が行われました。また、賞品のプレゼント役は本日の主役である天野浩氏が務めました。その抽選会の最中には、一等の「遠鉄百貨店の商品券」が遠州鉄道株式会社取締役社長 斉藤薫氏（高23回）に当選し、ご本人からのご厚意により他の方に一度のお譲りしたいとのこと。再度の抽選が行われるという珍しくも心温まるサプライズが

2016年 新春の集い 収支報告書

収入の部	科目	金額	摘要
	広告売上	8,499,278	広告 420件
	チケット売上	5,997,000	チケット枚数 780枚
	記念品売上	0	実施せず
	雑収入	87,000	恩師・来賓よりご祝儀
	預金利息	836	預金利息
	合計	14,584,114	

(単位:円)

支出の部	科目	金額	摘要
	会場費	7,135,840	グランドホテル会場費等
	景品費	306,325	当日抽選会の景品
	印刷費	2,759,090	記念誌、チケット等
	通信費	208,184	携帯電話、葉書等
	会議費	964,843	幹事会、部会経費等
	事務費	1,847	文具等
	交際費	400,220	西高フォーラム、総会参加等
	渉外費	1,443,308	クライアントとの打合わせ等
	雑費	3,024	振込手数料等
	その他	0	
	本会計繰入	1,361,433	
	合計	14,584,114	

発生し、会場を大いに盛り上げました。新春の集いの最後は、毎年恒例の応援歌斉唱です。今年の応援団リーダーは幹事学年の高48回卒の清水啓介君が務めました。非常に張りのある迫力のある声で会場参加者全員が勇気づけられる素晴らしい応援でした。

新春の集いの準備・運営にあたり、多大なご協力をいただきました同窓生の皆様には、心より御礼申し上げます。特に、多忙の中にも関わらず労を惜しまず協力してくれた高48回卒の同級生の皆様、ありがとうございます。

私個人としても、幹事活動を通じて、在学当時ですら面識のなかった同級生、幅広い年代の



同窓生の皆様、恩師の先生方との交流を深めることができました。とは非常に貴重な経験となりました。

2017年「新春の集い」は、高49回卒の幹事へバトンタッチします。

最後に浜松西高等学校の同窓生の皆様の益々のご多幸とご発展を祈念して代表幹事の言葉とさせていただきます。

以上の通り、ご報告申し上げます。

静岡県立浜松西高等学校

第48回卒 2016新春の集い幹事会

代表幹事 岡本 周二 ㊟

会計 宮澤 一行 ㊟

上記の通り、正確に処理され適正と認めます。

平成28年3月22日

会計監査 前田 米藏 ㊟

会計監査 市川 静子 ㊟



OB・OG会活動紹介

弦楽部顧問として

浜松西高等学校中等部に赴任して3年目。11月下旬に行われたTBSこども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会で「中学校合奏第一部門・最優秀賞」という言葉を聞いた時「一つ結果が出て良かった」と心の底からほっとした。

赴任して1年目。卒業後18年目という縁もあって母校の浜松西高等学校に、今度は「中等部音楽教師」として勤務することになった。担当部活動は弦楽部顧問。

音楽教師と言っても高校時代は吹奏楽部。弦楽器には今まで一切縁がなかったのに、赴任当初は楽器についてチンプンカンプン。また中等部と高等部が一緒に活動をしている「ある意味特殊で恵まれている体制」に戸惑うことばかり。



そんな顧問の下で入部した中等部一年生が、成長して中等部三年生となり上記の結果を残すことができたことに感動した。

赴任して5年目。先日行われた第21回定期演奏会ではチャイコフスキー作曲「弦楽セレナーデ」を指揮する機会に恵まれた。中等部3年生だった生徒達は高2となり、今までの活動の集大成の舞台だった。5年間生徒達の頑張りや顧問の立場から見ただけに練習中指揮をしながら様々な思いが出が浮かび、感慨深いものがあった。本当に素晴らしい演奏会だった。5年間の成長する姿を身近で見ることができるのはこの部活動の特権みたいなものだろう。

常に生徒達に「中学生・高校生感覚を大切にされた精一杯の演奏」「人生に17歳という時は1回しかない。その時を大切に！」と折りに触れて伝えていく。もちろん部活動に課題がない日はないが、後に続く生徒達は、先輩方の後姿を追いかけて、楽器と向かい合い何かしつ、掴み成長していつて貰いたい。

落合 優 (高46回)

告知ですー

第22回弦楽部定期演奏会
平成29年3月22日(水)
アクトシティ中ホール

対浜松北高 OB定期戦

サッカー 第40回定期戦結果

第40回定期戦が、8月の第一日曜日(8月2日)に、遠州灘海浜公園球技場にて催されました。

役員の方々ははじめ、70代から若手までの多くのOBの方々、そして、現役部員と母会の皆さまの御参加と御協力での定期戦が無事開催できましたことをこの場を借りて感謝を申し上げます。

当日は、天気にも恵まれ、熱のこもった試合が繰り広げられました。印象的であったのは、年齢に関係なくサッカーを愛し真剣なプレーをされているOBの方々の姿でした。また、プレーだけでなく、青春時代の話に花をさせ旧友との再会を楽しんでいる風景は心なむものでした。

このようなOBの方々との交流は、現役選手たちにとって、西高サッカー部の伝統とその誇りを感じられる有意義な機会となっております。

この実りある定期戦が今後も

末永く開催され、浜松西高校と浜松北高校の両校サッカー部が益々発展していくことを祈願し定期戦報告の結びとさせていただきます

OB戦60歳以上 浜西0-2 浜北
OB戦40歳以上 浜西1-0 浜北
現役B戦 浜西4-1 浜北
現役C戦(中等部) 浜西6-3 浜北
OB最強戦 浜西0-1 浜北
現役A戦 浜西4-0 浜北
通算 4勝2敗0分
大隅 康人(高40回)

野球

平成28年4月23日(土) 浜松球場において浜松西対浜松北野球部定期戦に先立ち、同OB戦が開催された。先発安達(24回)は初回、テンポよく2アウトをとるものの連打とエラーも絡み2点を献上。2回表は藤田浩(36回)井口(58回)の連続長打により1点を返す。しかしその裏北高の打線がつながり惜しくも6失点。3回4回と、この日2本目のヒットを放った大堀(33回)など出塁はあるものの5回まで得点につながらず、満を持しての6回、先頭バッター佐野(49回)の三塁打を皮切りに山本(54回)のヒット、

波多腰(44回)の二塁打で4点を加える。その後北高は6回7回と3点ずつを加点。8回、エラーで出塁したランナーを波多腰2本目の二塁打で返すもその裏北高はさらに加点、試合終了となる。結果は残念ではあったものの、投手永田(33回)が現役時代とかわらない華麗なるオーバーハンドで、わずか8球で1イニングを抑えたり、最終回2アウトの場面でも山本が3塁打を放つなどベンチは盛り上がり、始末いいムードであった。戦績は19勝14敗3分。次回は是非、記念すべき20勝目を狙いたいところ。

多くのOBの皆様の参加、応援を期待しています。

浜松西/0100004010 6
浜松北/260000331x 15
細川正樹(高39回)



叙勲の人

平成27年秋の叙勲

瑞宝小綬章 山本 慎吾(高10回)

瑞宝小綬章 渡瀬 友一(高15回)

瑞宝双光章 村松 右(高16回)

平成28年春の叙勲

旭日小綬章 酒井 基壽(高6回)

瑞宝小綬章

山本 慎吾(高10回)



平成27年秋の叙勲で瑞宝小綬章(郵政事業功労)を受章しました。11月6日、赤坂プリンスホテルの式典会場において、総務大臣から勲記及び勲章の伝達を受け、引き続き皇居に参内し、天皇陛下に拝謁を賜り感激の極みにございました。今年の新春の集いでは、浜松西高等学校同窓会長から表彰状と副賞をいただきました。ありがとうございます。

浜松西高には火事で焼けた直後の昭和30年に入学、講堂を間仕切りした教室で授業を受けました。記憶の片隅に強く印象に残っています。

昭和34年4月に浜松郵便局に採用され、約40年間郵便局一筋に勤め、名古屋市内にある千種郵便局長を最後に退官しました。郵便局では郵便、貯金、保険の3事業を行っておりですが、この三つとも経験しました。浜松郵便局に21年間勤務した後、静岡、愛知県内の13の郵便局に勤務しました。この間に単身生活も延べ9年間経験しました。ポストに投函されたはがき1枚がお客様に届くまでに、多くの郵便局や職員が関わっています。全国に設置された2万数千局のネットワークによって支えられています。どこかで一つミスがあると大切な郵便物は届きません。アキレス腱と一緒に、届いて当たり前の郵便物が届かないと大きな問題に発展します。一瞬たりとも気の抜けない仕事でした。

長い間勤めていると、良いことも悪いことも数多くありました。元来、気の小さい弱い人間でしたので、困難を乗り越えられず、切羽詰まって郵便局を辞めようと、辞職願を提出したこともありました。こんな時、上司、先輩、同僚、後輩の皆さんが叱咤激励してくれました。どれほど励まされたか分かりません。数多くの職場で、多くの皆さんから心温まるご指導をいただきました。



だき、郵政人生の大きな支えとなり、最後まで勤めきることが出来ました。我が人生にとつて最大の財産となり、良き思い出となりました。ただ一つ残念なことは、長年に渡って我儘な小生を、脇に沿い支え続けてくれた女房と、この栄えある式典と一緒に参加できなかったことです。せめても恩返しにと、写真を胸のポケットに納め参加しました。

瑞宝小綬章

渡瀬 友一(高15回)



このたび、平成27年度秋の叙勲の榮譽に浴し、同窓会からは表彰状と記念品を戴き、思いもかけなかったことが続き、非常

に光栄にかつ恐縮に受けとめております。

家庭裁判所の家庭裁判所調査官を37年務めました。転勤が伴う仕事で、引越は20回以上に及びました。実家の浜松にはシーズンごとに一度戻れば良い方で、同窓会にも出席できませんでした。しかし、新幹線で往來する折、車窓から母校西高の校舎を眺めることはとても楽しかったです。また、私の仕事には後輩の同窓生が、知っているだけでも女性を含め何人かおられて、彼らは西高を思い出させてくれました。

定年後は、転勤の流れで、東京を本拠地としましたので、引き続き新年の同窓会も出席できませんでした。同級生との交流も年賀状のやりとりのみで、しかもごく僅かの方とだけで、頻繁な転勤に託けて本当に礼を失って来ました。

このような私でも、天野浩教授のノーベル賞受賞には、同窓生の一人として大変興奮かつ誇りに感じ、母校西高のことを改めて思う切っ掛けとなり、それがさめやらぬ矢先に今回のこととなりました。

私の現役時代は昭和35年〜38年で、当時の校風は自由かつバカカ。雨模様の日は傘を持って下駄履きで登校しました。休講があればクラス委員が他の時限の先生に交渉して下校を早めました。また、当時キューバ危機の勃発で、数学の先生が急遽授業

をその話に変更したりしました。先生によつては、教室の後ろの入り口から入室し、「やっているか」の一言で授業が始まることもありました。こんな校風にのんびり浸っていた3年次ののはじめ、「この先どうするのだ」と担任に言われてびっくり！勉強をするもしないも自分自身に任されていたのだと気が付き、それまでの不勉強を大いに反省したこと...など、思い出は尽きません。このように色々のことが蘇り、本当に青春を謳歌した時代であったとつくづく思い返しております。

旭日小綬章

酒井 基壽(高6回)



私はこのたび平成28年春の叙勲において地方自治功労により旭日小綬章という大変重い章を拝受する榮譽に浴しましたこと

は身に余る光栄であります。
 5月2日、県庁にて川勝知事より伝達を受け、5月13日には皇居に参内し春秋の間に於いて天皇陛下に拝調しお言葉まで賜りましたことは感謝の極みであります。

7期28年の長きに亘り浜松市議会議員として愚直に邁進し、平成19年には政令指定都市浜松の初代議長を務めました。同じく政令指定都市浜松の初代市長の鈴木康友市長と共に山積する課題に力強く取り組みました。西高出身者が浜松市議会の議長に就いたのは明治44年浜松市制誕生より実に96年目であり、西高開学より84年振りでありました。それだけに私のモチベーションと意識は想像を超えて高いものであります。

私の議員としての信条は納税者の視点からの行政改革の断行、市長に隠しごとをしない行政と議会の実現、温かい心の通う市政で福祉、教育、医療、安心、安全の防災の街づくり、将来の人口減に対応し浜松を元気にする政策を網羅して実行することでありました。特に市の行財政改革では単に行政コストの削減の観点のみならず、制度、システムを変えていく改革において議会の先頭に立って全力を尽くして邁進した28年間であります。地方自治体の公会計制度の改革（単式現金主義から複式発生主義の企業会計の導入）では石原都知事率いる東京都と並んで浜松市を公会計改革

の先駆的都市に、また130以上ある市長の諮問機関（各種行政委員会）の完全公開化、5千億円かけて創った約2000ある主要市施設の無休館化（実質750億円の行革効果を生む）などの実現には、一般質問、代表質問を壇上から実現するまでしつこく繰り返して実行したものであります。私が幸いにも数多くの実績を挙げることが出来ました背景には、西高出身の副市長、部長、課長さん達の陰ながらの筆舌に尽くしがたいご協力があつたことを申し添えます。



西高2年生の時、生徒会長を

やったり、西高柔道部からアマチュアボクシング（工機部にあつたクラブに通つた）に転向し国体選手になったり、まさに文武両道の血の多い西山健児でありました。骨のずいまで西山健児として西山台に学んだ誇りと自信と愛校心、そして市議会議員28年間の実績と責任と郷土愛を心の糧としてこれから後進の育成と若手にバッジを着ける真の意味を指導していきたいと思つていきます。

第15回西高同窓フォーラム



第15回西高同窓フォーラムは平成28年2月20日（土）ホテルコンコルド浜松にて90名を超える出席者のもと行われました。講演は高14回卒松原邦久氏による「日本企業が嵌るチャイナハラスメントの罠」と言う演題で行われました。

2006年重慶長安鈴木汽車（スズキ）の社長退任後、中国での体験を基に出版された「チャイナハラスメント」中国にむしられる日本企業」(2015年新潮新書)が業界のベストセラーになりました。実際に体験された中国ビジネスの実態を分かりやすくお話しして頂きました。

皆さん、静岡県で活躍を

平成26年2月、「静岡県の転出超過数が全国ワースト2位」というショッキングなニュースが流れました。今年の発表では、ワースト2位からは脱し5位となったものの、転出超過は6206人と依然多数であることは変わっていません。年齢階層別にみると、若い世代、特に20歳代の女性の東京圏への転出超過が顕著であり、大学進学を機に県外に転出し、そのまま他県で就職している若者が多いものと推測されます。このような中、県は、本県の持続的な発展をめざし、次世代産業の創出を一層進めるとともに、新卒者向けに「静岡U・I

ターン就職サポートセンター」を、社会人向けに「静岡県移住相談センター」を設置し、Uターン就職の支援に重点的に取り組んでいます。
 静岡県には多種多様な産業が集積し、「キラリと光る」企業が多数立地しており、浜松西高卒業生の皆さんが活躍できるステージが広がっています。
 一人でも多くの皆さんが地元就職され、大いに活躍されることを心から願っています。
 ●静岡U・Iターン就職サポートセンター...JR目黒駅西口徒歩2分（0800-8001-6617）
 ●静岡県移住相談センター...JR有楽町東京交通会館内（03-6206-3858）

静岡県庁があなたの就活をバックアップ！

しずおかU・Iターン就職サポートセンター

所在地 東京都品川区上大崎 2-25-2 新目黒東急ビル6F
 TEL 0800-800-6617
 メール uicenter@sigma-jp.co.jp
 開館 9:00~17:00（平日及び隔週の土曜日）
 支援内容
 ・就職相談・カウンセリング（要予約）
 ・県内企業による合同企業説明会・面接会
 ・県内企業の求人情報の公開

J R 目黒駅西口徒歩2分

静岡U・Iターン就職サポートセンター
 オリジナルキャラクター ぬいぐるみ

活躍する同窓生

日本語で地元貢献

原田 奈穂 (高49回)



『日本語教師』って聞いたことがありませんか。国語教師ではなく、日本語教師。日本語を母語としない人々に日本語を教えるお仕事です。日本で日本語を教えるなんて、需要があるの？と思われるかもしれませんが、静岡県、特に西部地区は外国人の比率が高く、皆さんの身近にも外国にルーツを持つ方が一人くらいはいると思います。地域に住む外国人の中には、日本語がわからないために希望する職種に就けなかったり、生活自体に困難を抱えたりしている人も多いのです。

私はまだ資格を取って2年目、無資格でボランティアをしていた時期を合わせても3年目の新米です。日本語教師として地域の外国人と接するように

なっていて、いろいろ新しい発見がありました。

まず、周りにこんなにたくさん外国人が住んでいたということ。それから、日本語が分からないまま、学校に通っている子どもたちがたくさんいるということ。

昨年度は、来日間もない小学生にあたる年齢の子たちの日本語支援をしました。彼らには日本語はもちろん、日本の学校で集団生活を送る上でのルールなどを教える必要があります。

外国にルーツを持つ子の抱える問題を挙げるとキリがないので割愛しますが、親の都合で日



本に来て、言葉も分からず不安な思いでいる子たちの日本語能力向上のため、質の良い授業をつくるのが今の私の日々の目標であり、やりがいです。

今年度は、日本では高校生の年齢にあたる若者への日本語支援をしています。

勉強が好きで、嫌いな子、お調子者、恥ずかしがり屋。国籍も性格もぜんぜん違う彼らですが、そんな彼らの若いパワーに接していると、自分が西高の学び舎で生活していた頃を懐かしく思い出します。

弓道部で、毎日胴着に着替えて弓を引いていた頃。もうちょっとしっかり勉強しとけばよかったなど、宿題をサボって

くる子を叱りながらあの頃の自分と重なります。

この子たちが日本で楽しい高校生活を送れるように、ひとりひとりに寄り添う支援を心がけています。

毎日締め切りに追われるようにと、Mっ気たっぷりな【メ切三昧】なる屋号を掲げ、フリーランスの編集・ライターとして活動を始めて10年以上。地域情報誌やフリーペーパーの制作をはじめ、スポーツ、行政、歴史、学校案内、企業案内などなど、自分でもうござりするほどのオールマイティっぷりを武器に、こっそり社会に貢献できたいな、と。愛を垂れ流していき

あまり深いことは考えず、でも、さらなる高みに向かって奮闘しています。ちなみにここ1ヶ月はラーメン三昧。60杯以上を完食するという無慈悲な生活を送っておりました。

巷では「高49回卒で最も昔の面影がない」との噂が拡大中ですが、そんな私の西高時代と言え、壮絶なる部活動で気力・体力を奪われつつ、それでも這いつくばって、遊びとアソビとASOBIに精を出した3年間。入学して4日目くらいまでは「VIVA!文武両道!」と意気込んでいましたが、授業内容と周囲のレベルの高さを迅速に察知し、気付けば、自らすんで踏み台になることを決意しており、と、全くもってお話にならない西山台での高校生活でしたが、これが意外と無駄ではありませんでした。奇跡的

メ切に追われる毎日

野寄 晴義 (高49回)



に現役合格した大学生活では、高校時代の怠惰な自分に別れを告げたい!との思いがひしひしと沸き上がり、まさかの勉強の鬼と化すことができたのです。まさかの札幌で、まさかのロシア語学科で、まさかのロシア語新聞部に在籍し、まさかのモスクワ留学とかもして。

とは言え、大学卒業後は味噌ラーメンとボルシチをポパイと捨て去り、浜松の印刷会社に就職。営業職だと聞いていたのに、なぜかタウン誌編集部配属になり、わけもわからず雑誌作りのイロハを叩き込まれました。で、いろいろ割愛して、フリーランスの編集・ライター

【メ切三昧】として独立。リーマンショックやら、アベノミクスやら、結婚やらを通り抜け、どうにかこうにか今に至っております。

広告とか宣伝って、いまいちよくわからない世界ですよな? 文章書くのって頭使うし時間もかかるしで面倒くさくないですか? チラシ作ってもらったり、ロゴとかデザインするのって一体どのくらいお金がかかるのでしょうか? そんなお悩みがあるならば、何となく【メ切三昧】にご相談ください。ホント、何となく構いませんので。

毎日締め切りに追われるようにと、Mっ気たっぷりな【メ切三昧】なる屋号を掲げ、フリーランスの編集・ライターとして活動を始めて10年以上。地域情報誌やフリーペーパーの制作をはじめ、スポーツ、行政、歴史、学校案内、企業案内などなど、自分でもうござりするほどのオールマイティっぷりを武器に、こっそり社会に貢献できたいな、と。愛を垂れ流していき

あまり深いことは考えず、でも、さらなる高みに向かって奮闘しています。ちなみにここ1ヶ月はラーメン三昧。60杯以上を完食するという無慈悲な生活を送っておりました。

巷では「高49回卒で最も昔の面影がない」との噂が拡大中ですが、そんな私の西高時代と言え、壮絶なる部活動で気力・体力を奪われつつ、それでも這いつくばって、遊びとアソビとASOBIに精を出した3年間。入学して4日目くらいまでは「VIVA!文武両道!」と意気込んでいましたが、授業内容と周囲のレベルの高さを迅速に察知し、気付けば、自らすんで踏み台になることを決意しており、と、全くもってお話にならない西山台での高校生活でしたが、これが意外と無駄ではありませんでした。奇跡的

毎日締め切りに追われるようにと、Mっ気たっぷりな【メ切三昧】なる屋号を掲げ、フリーランスの編集・ライターとして活動を始めて10年以上。地域情報誌やフリーペーパーの制作をはじめ、スポーツ、行政、歴史、学校案内、企業案内などなど、自分でもうござりするほどのオールマイティっぷりを武器に、こっそり社会に貢献できたいな、と。愛を垂れ流していき

あまり深いことは考えず、でも、さらなる高みに向かって奮闘しています。ちなみにここ1ヶ月はラーメン三昧。60杯以上を完食するという無慈悲な生活を送っておりました。

巷では「高49回卒で最も昔の面影がない」との噂が拡大中ですが、そんな私の西高時代と言え、壮絶なる部活動で気力・体力を奪われつつ、それでも這いつくばって、遊びとアソビとASOBIに精を出した3年間。入学して4日目くらいまでは「VIVA!文武両道!」と意気込んでいましたが、授業内容と周囲のレベルの高さを迅速に察知し、気付けば、自らすんで踏み台になることを決意しており、と、全くもってお話にならない西山台での高校生活でしたが、これが意外と無駄ではありませんでした。奇跡的

想いを写真に
笹田浩太郎 (高49回)



僕は今、浜松市西区館山寺町で写真館「ササダ写真館」を経営しています。七五三や成人式などの記念写真撮影、学校の卒業アルバム撮影、その他にも料理の撮影、商品撮影など、写真に関わることはなんでも行っております。写真の仕事を意識し始めたのは高校3年の時でした。実は、その頃までは写真が好きではありませんでした。実家は祖父の代から写真館を経営しており、写真はとても身近なものだったので、小学校や、中学校の林間学校、修学旅行などに父が撮影に来るため、恥ずかしさを感じていたのと、カメラマンという仕事になんとなくですが暗いイメージがあったからです。高校時代は柔道部に所属していた、カメラはほとんど触っていませんでした。3年生になり、部活動から離れると父のカメラを借りて家の近く風景や高校の球技大会を白黒フィルムで撮影して自分で

暗室でプリント作業をするようになりまし。現像液にプリントをつけると、撮影した画像がゆつくりと浮き出てきてとても感動し、写真の面白さを知りました。それから大学の写真学科に行きたいと強く思うようになりました。大学時代には実習、アルバイトなどでいろいろな撮影を経験させていただきました。そこで、写真の仕事としても色々な専門分野がある中、家族の嬉しい笑顔や優しさを直に感じられるスタジオ記念写真にやりがいを感じるようになりました。そして大学卒業後、東京の写真スタジオで6年間働き、浜松に戻ってきました。ホームページや名刺などのプロフィール欄に浜松西高出身と載せたことにより、多くの西高出身のお客様や、学校の先生方に声をかけて頂くようになりました。高校の思い出話で会話が弾み、親近感を抱いてくださるのでとても良かったです。今の時代、常に携帯電話やスマートフォンを持ち歩き、誰でもすぐに撮影し見られるようになりまし。それでも家族写真の撮影は年々増えています。10年20年と年月が経ち、写真を見返す時、家族の絆、優しさを感じられるような写真をこれからも撮影できるように努力していきたいと思

ご冥福をお祈り
いたします

平成28年7月1日夜(日本時間2日未明)にバングラデシユの首都ダッカで起きた「飲食店襲撃事件」で高45回酒井夕子さんが、犠牲となられました。

酒井さんには、2012年に「活躍する同窓生」として、「海外を飛び回って」と題して、同窓会報へ、御寄稿いただきました。

2001年の青年海外協力隊(現職参加)にてモロッコ王国フェズ県イムゼル・カンドール市役所に勤務し、その後2003年の株式会社アルメック復帰後、ベトナム、インドネシア、カンボジア等々十か国以上の国で、都市計画の開発コンサルタントとして活躍されている中、志半ばで天に召され大変無念だったことと思

同窓生一同、酒井さんのご冥福をお祈りいたします。

また、今回の同窓会報への掲載に際し、担任の小澤先生からは「今回の事件で、西高生が海外で活躍する志を無くさないでほしい。それが彼女の意志だろう。」との言葉をいただいております。

海外を飛び回って



酒井 夕子 (高45回)

かつて外交官になっていたという国に行ってみたくて夢見ていた私は今、開発コンサルタントの仕事をしている。が、「それってどんな仕事ですか」と聞かれると、一口に説明するのは難しい。一応は、発展途上国に行つて現地です仕事をする、と答えるのだが...

一般的には、日本のODA(政府開発援助)として、発展途上国の都市基盤や教育等の開発に関するプロジェクトを、その最前線、相手国政府との間の緩衝材として、プロジェクトの進捗管理や技術移転を行うのが開発コンサルタントだ。具体的には、交通計画(高速道路や都市鉄道のマスタープラン)や都市計画、防災計画を策定するチームに参加して、主にGIS(地理情報システム)を担当している。今まで仕事で行った国は、青年海外協力隊として2年間生活したモロッコを含め、ベトナム、インドネシア、スリランカ、バン

グラデシユ、等々、10カ国に上る。海外を飛び回っていると、世

界は本当は狭いんだ、と感じる瞬間がある。出張先で西高OBに出会う、ということもそうした瞬間の一つだ。例えば、近年急成長中で日本企業の進出も著しいインドネシアの首都ジャカルタには、浜松出身もしくは縁のある人が集まる浜松会というものがある。そこには、西高OBも何人か参加している。西高会までできてしまうのだ。海外で暮らす日本人社会では、日本語を話したり生活上の情報交換をしたりするため、日本人会や県人会やらが結成されることはどの国でもよくあるのだが、市レベルで会ができるのは珍しく、浜松人の地元愛と結束の強さがうかがえる。そもそも浜松は製造業が多いので、インドネシアに工場を持つ企業も多く、長期の駐在員として生活している人は多い。そして、浜松人に特有の創造性と「やらまいか」精神を大いに発揮して活躍している人も多いのだ。この先も、海外の、どこかの街角で、そんな浜松人や西高OBに出会えることを楽しみに、海外を渡り歩いていきたい。

略歴
筑波大学卒業後、(株)アルメック入社。二〇〇一年青年海外協力隊(現職参加)にてモロッコ王国フェズ県イムゼル・カンドール市役所に勤務。二〇〇三年(株)アルメック復帰後、ベトナム、インドネシア、他6カ国で開発プロジェクトに従事し、現在に至る。

第40回浜松西高同窓ゴルフ大会結果報告書

恒例の浜松西高同窓会ゴルフ大会が、平成28年5月11日(水)に浜名湖カントリークラブで開催されました。本年は40回の記念すべき大会となりました。



雨が朝から降り始め、午前中は風も強く、大荒れとなり、あいにくのコンディションでしたが、高2回〜高49回までの総勢176名(途中棄権5名)が腕を競い合いました。熱い勝負の

中にも和気藹々と同窓生同士の親睦を深めることができました。40回記念イベントとして「3人のプロによるレッスン」を実施し、腕を磨いたようです。来年も素晴らしい大会となることでしょう。競技の結果は下記のとおりです。

◆シニアの部

(高16回以上・49名参加途中棄権5名)

- 優勝 松山巨男(高11回) グロス 80 ネット 70・4
- 2位 水野美明(高12回) グロス 105 ネット 71・4
- 3位 藤田重喜(高16回) グロス 84 ネット 72・0

◆一般の部



◆女性の部(3名参加)

優勝 花田雪乃(高34回)

- (高17回以下・124名参加)
- 優勝 飯尾 勉(高17回) グロス 88 ネット 71・2
- 2位 飯田知弘(高23回) グロス 97 ネット 71・8
- 3位 前原章佳(高19回) グロス 89 ネット 72・2



多大なるご協賛を賜りました皆様、ご参加いただきました同窓生の皆様にお礼ならびに感謝申し上げます。また、この大会のさらなる発展と未来永劫引き継がれることを祈念いたします。

幹事 高37回一同

還曆に寄せて



彦坂 道厚 (高27回)

西高を卒業してもう42年経つ?間違っていないの?と、この原稿を書いている?と思いましたが、なぜなら、ほとんどの思い出が昨日の事のような気がしてならないからです。バス通学であった私の最後の壁は皆さんもそうであったと思いますが、西坂でした。遅刻しそうなときにはダッシュで駆け上っていました。しんどかった思い出があります。授業は理科の三橋先生、数学の日向先生や江夏先生、歴史の加藤先生、国語の坂田先生や村木先生などの名物先生がそろっていたので内容はもちろん面白く、勉強に身が入りました。それ以上に国語科の先生の本線からずれた余談の部分は特に面白かったと記憶しています。だから眠るといふ選択肢は当時まったくありませんでした。思い出深いのは1年生で入学早々の御殿場への研修。最後の夜のキャンプファイアーの出し物を今でも覚えています。それ以来、彼らとは友人で、今でも

年1回の旅行や年4回の麻雀を忙しい中、都合をつけています。また、1年生といえば応援練習も強烈な思い出です。おかげで、今でも校歌も応援歌も歌いきることが出来ます。クラスメートと昼休みまで練習したクラス対抗球技大会、上島の同級生宅で前泊までして準備した体育祭やクラス全員で準備した文化祭など仲間と過ごした思い出が強い記憶として残っています。22年前に新春の集いの幹事をお任せつかったときは、同級生と1年半掛けて準備をしました。最初は1ヶ月に1回ずつ集まり、先輩のアドバイスを受けながら、暗中模索で準備してきました。その中で同じクラス、同じ部活でないと在学中は話をすることもなかった同級生同士が卒業後20年経って、新春の集いに向かって準備を進め、それにより、交流を深めることが出来ました。これはすばらしいことです。新春の集いのシステムがより多くの人とふれ合うという目的に向かっていっているようにさえ思えてきます。日々、仕事をしながら大切なのは人と人の関わりです。30代後半、40代前半でこのように人脈が増えて、仕事にも大変プラスになりました。西高に育てられ、これからも私の支えになってくれる西高に感謝、感謝です。もし、神様に「中学校時代」、「高校時代」、「大学時代」のうちどちらかに戻してあげるといわれたら、ノータイムで西高時代に戻してくれと頼みます。

高10回卒新春の集い 二次会&叙勲祝賀会

正月2日、西高同窓会に参加の後、場所をかえて二次会と山本慎吾君叙勲祝賀会を行った。参加者27人と大勢の参加があり、あらためて当人の人望の深さに敬意を表したい。当人の受賞までの経緯挨拶等があり、ますます、会は盛り上がり、次会の再会を楽しみに散会した。

次会は10月19日(水)オークラアクトシティホテル浜松にて、「高10回喜寿の祝いの会」を開催します。新趣向として昭



和30年代の日本映画全盛期「映画華やかにし頃」のタイトルで当時の映画を見ながら青春時代の思い出にふけりたいと思います。多数の参加をお願いいたします。

平成28年6月11日

学年代表幹事 白柳俊司

高49回卒、高50回卒 合同同窓懇親会

4月30日(土)、高49回卒同窓会幹事会メンバーと同級生、そして来年幹事年を迎える高50回卒幹事会候補メンバーによる合同同窓懇親会が行われました。

会場は浜松街中の「てんくう浜松モール街店」。予想を超える60名近い方に参加いただき、同窓生との絆を深めながら、来年1月2日に開催される『2017年新春の集い』の準備・活動報告をいたしました。さらに、ゲストとしてノーベル賞を受賞された天野浩先輩の同級生で高31回卒の薩川先輩(同窓会副会長)、さらに『2014 新春の集い』にて大成功を収めた高46回卒幹事会メンバーの先輩方にもご出席いただき、幹事会運営に関するア

ドバイスや激励などを頂戴することで、より有意義な時間を過ごすことができました。

8月13日(土)には、高49回卒メンバーを中心にした夏の同窓懇親会の開催も決定しております。皆様からのご参加心よりお待ちしております。



高18回卒業50周年 (古稀)同窓会告知

高18回卒 卒業50周年同窓会
日時 平成28年(2016)
10月30日(日)
午後3時~5時30分

場所 ホテルクラウンパレス
(浜松駅前)

会費 ¥8,000

連絡先 伊藤孝司

〒435-0005 浜松市東区

小池町751-2

090-87738-9770

koji-chan@nifty.com

新刊紹介

同窓生の著作です

『発音とスペルの法則』

増田紀行(高19回)



『チャイナハラスメント』

松原邦久(高14回)



同窓会専用電話・ファックス

☎/FAX 053-456-0662

Eメールアドレス

hama24@hamanishi.org

現在上記のアドレスに変更中です。当分の間ご迷惑おかけしますが御理解をお願いします。上記のアドレスは9月中旬より使用できる予定です。

※毎週火曜日午前10時~12時までは事務員の徳永さんが対応。それ以外はファックス・メール又は、留守番電話にメッセージを録音して下さい。

恩師訪問



榊原 英明先生

Q…本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます！早速ですが、先生の簡単な経歴から教えてください

A…西高に赴任したのは駆け出しの25歳の時。そこから31歳までの計6年間勤務しました。その後、引佐高校に8年、県立農林大学校に3年勤務し、9年前から現在の浜松湖南高校です。総務課長という立場になり、クラス担任を持つことはほとんどなくなりましたが、「バレーボール部・顧問」の肩書きは、西高時代を含めて25年以上途切れることなく続けています。

Q…西高に赴任した当時の心境を教えてください
A…20代半ばの新米教師が、いきなり名門バレー部の顧問ですからね。もちろんやりがいはいっぱいでしたが、同時にかなりのプレッシャーを感じていました。当時、すでに結婚をしていたのですが、家庭のことは二の次三の次(苦笑)。無我夢中で日々の授業(保健体育)とバレーボールの指導に明け暮れていたのを覚えています。最初の2年間で年休を取ったのは、愛娘が誕生した時の1回だけだったんじゃないかな。

Q…バレーボール漬け、西高漬けの毎日だったわけですね？
A…そうですね。全国にはあと一歩届きませんでした(最高成績は県準優勝)、厳しい指導に必死で喰らいつき、しっかりと結果を出してくれた部員たちとの時間は、今でも私の財産です。教師人生の早い段階で「文武両道のお手本」とも言える西高生を指導する機会に恵まれたことは、自身の成長に大きく影響しています。ですから、10年くらい前でしようか？西高のバレー部が休部になったという話を聞いた時はショックでしたね。

Q…西高生の印象はどうでしたか？
A…授業に対する理解や吸収がとても早いという印象です。それと、何事にも積極的に行動し、チャレンジ精神旺盛な生徒が多かったと思います。私がい

た時の西高は「とことん生徒を鍛え上げる」という、ある意味スパルタ的な教育風土が残っていて、勉強にしろ、部活動にしろ、生徒に対する要求がかなり高かったと思うんです。それでも、毎日膨大な量の課題をこなしながら、部活動では素晴らしい成績を残し、研修旅行や体育祭といった学校行事も生徒主導です。そんな成功させてしまうんですよね。しかも意外と淡々と(笑)。そういう姿を目の当たりにするたび、西高に集まってくる生徒たちの能力の高さや凄さを再認識していました。

Q…最後に浜松西高同窓会へのメッセージをお願いします！
A…同窓会幹事年を迎えた高49回卒生をはじめ、これから社会のリーダーになっていく若い世代のご活躍に期待しています。いろいろ大変なこともあるかと思いますが、「とことん生徒を鍛え上げる」カリキュラムを乗り越えてきたみなさんなら大丈夫。時にがんばり、時にしなやかに、時にしたたかに。長い人生を着実に歩んでいただき、日本の未来、地域の未来の中心を担って行ってください！

榊原先生、ありがとうございます！今後益々のご活躍を心からお祈りいたします！

英国語学研修報告

平成27年7月25日から8月9日までの16日間、男子11名、女子10名、引率教員2名の合計23名で、英国ケンブリッジ州カンタベリ市において語学研修を実施しました。

滞在先は、チャールサー作の「カンタベリー物語」でよく知られるカンタベリー市です。英国国教会の総本山であるカンタベリー大聖堂があり、信者らの聖地となつています。街は城壁に囲まれ、中世の雰囲気と現代的な建築物が調和を保っています。緑が多く、また治安もよ

く、研修地として最適でした。生徒たちは、研修期間中ホームステイをして過ごしました。生徒の一日は、朝、ステイ先を出発し、語学研修を行います。午前中に、90分の講座を2つ受講し、午後は日替わりで、プロジェクト学習(例：街頭インタ



ビュー調査)、エクスカージョ(小旅行)、スポーツ、クラフト体験、ディスコなどを体験しました。それらが終わると、ステイ先に戻りホストファミリーとの時間を過ごします。朝から夜まで英語に触れる機会が多く充実したプログラムになっていました。

これらのプログラムの中でも特筆しておくべきことは、西高生が主催する通称「ジャパナイト」のことです。「ジャパナイト」の夜は、8月6日(研修13日目)の夜に、2時間を使って、語学学校の生徒たちに日本を紹介するイベントです。当然のことですが、すべて英語で行いました。今までの学習の成果を出しつつ、ソールや二人羽織、桃太郎の劇、歌やダンスを披露しました。会場のイタリア、中国、フランスなどの生徒たちと楽しい時間を過ごすことができました。

約二週間の滞在でしたが、生徒の英語力が目に見えて向上しているのを見て、高校生の吸収力の高さに驚かされました。また、ホームステイファミリーやそこで知り合った留学生と異文化体験をすることができ、苦労もあつたようですが、ひと回り成長することができたと感じられました。本研修は、生徒たちのよい思い出となり、一生の財産となることとしよう。高校年代という精神的発達の著しい時期に、このような体験ができたことは、グローバル化社会を生きていく生徒たちにとっての上ない経験であったと思えます。このよ

平成28年度 (平成28年4月進学) 入試結果概要

入試合格状況

	平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国公立大	99	19	118	111	22	133	84	13	97
私立四大	539	34	573	594	95	689	479	58	537
国公立短大	7		7	9		9	1		1
管外大	2	1	3	3		3	3	1	4
各種専門学校	1	1	2	4		4	8		8

国公立大学	平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
北見工業大				1		1			
室蘭工業大	1		1						
北海道大	1	1	2				2		2
弘前大	1		1						
岩手大							1		1
東北大	2	1	3	2		2	2		2
茨城大	1		1				1		1
筑波大	1	1	2	1		1	1		1
宇都宮大									
埼玉大	1		1						
千葉大	2		2	4	2	6	2	1	3
お茶の水女子大	1		1				1		1
東京大	1		1				2		2
東京医科歯科大									
東京外国語大				2	1	3			
東京学芸大	2	1	3	1		1	1		1
東京工業大	2		2	1	1	2	1		1
東京海洋大	1		1	2	1	3	2		2
東京農工大	3		3				1		1
一橋大	1		1	2		2		1	1
電気通信大	1		1						
横浜国立大	6	1	7	4	3	7	2		2
山形大				1		1			
福島大				1		1			
新潟大							1		1
金沢大	2	1	3	1	1	2	1		1
福井大									
富山大					1	1			
山梨大	2	1	3	1		1	1	1	2
信州大	3	1	4	5		5	1		1
静岡大	16	1	17	17	2	19	11	2	13
浜松医大	4	3	7	6	2	8	5	1	6
愛知教育大	1		1						
豊橋技術科学大				1		1			
名古屋大	5		5	7	2	9	12		12
名古屋工大	1		1	5	1	6	2		2
岐阜大				1		1	1		1
三重大							1		1
滋賀大				2		2			
京都大	2		2	3		3	1	1	2
京都工芸繊維大		1	1	1		1			
京都教育大									
大阪大	5		5	1		1	2	1	3
大阪教育大									
神戸大	4		4	3		3	2	2	4
奈良教育大									
奈良女子大	3	1	4						
岡山大	1		1	1		1			
広島大				1		1		1	1
鳥取大				1		1	1		1
山口大				1	1	2	1		1
高知大	2	1	3						
徳島大									
香川大					1	1			
九州大	1	1	2	3		3	2		2
佐賀大									
長崎大									
宮崎大							1		1
鹿児島大									
琉球大				1		1			
国際教養大							2		2
福島県立医科大					1	1			
埼玉県立大									
前橋工科大							2		2
高崎経済大				1		1			
首都大東京	4		4	3	1	4	2		2
横浜市立大				2		2	1		1
神奈川県立保健福祉大									
都留文科大				2		2			
金沢美術工芸大									

石川県立大							1		1
山梨県立大	1		1						
岐阜薬科大	1		1						
静岡県立大	6	3	9	11	1	12	7		7
静岡文化芸大	4		4				1		1
愛知県立大									
愛知県立芸術大									
名古屋市立大									
福井県立大	1		1	1		1			
京都府立大					1		1	1	1
京都市立芸術大									
大阪府立大									
兵庫県立大	2		2	1		1			
鳥取環境大							1		1
岡山県立大							1		1
県立広島大								1	1
広島市立大						1		1	
高知工科大									
北九州市立大						3		3	
九州歯科大								1	1
名桜大						1		1	

私立大学(抜粋) (管外大・学校を含む)	平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
慶應義塾大	8	1	9	7	2	9	9	6	15
早稲田大	8	1	9	15	1	16	20	2	22
明治大	21	4	25	26	3	29	19	2	21
立教大	11	4	15	14	2	16	8	2	10
法政大	19		19	15	3	18	15	3	18
同志社大	10	1	11	13	6	19	10	7	17
立命館大	44	5	49	43	6	49	39	4	43
関西学院大	5		5	2	7	9	2		2
関西大	5		5	3		3	6	2	8
近畿大	5	1	6	7	3	10	3		3
上智大	5		5				1		1
中央大	9	1	10	19	3	22	8	7	15
青山学院大	13		13	8	4	12	7	1	8
東京理科大	11	1	12	15	6	21	18	1	19
芝浦工大	10		10	13	4	17	8	1	9
東京農大	7		7	13	2	15	7	1	8
明治学院大	5		5	13		13	1		1
日本大	16		16	13	1	14	23	1	24
東洋大	9		9	12	4	16	6	2	8
駒澤大	4		4	8		8	2		2
専修大	10		10	6		6	5		5
常葉大	58	1	59	50		50	33	1	34
聖隷クリストファー大	15	2	17	18		18	13		13
南山大	8		8	24	2	26	19		19
名城大	12		12	22	8	30	14		14
中京大	12		12	11	5	16	20		20
愛知大	5		5	5		5	6		6
愛知学院大	2		2	2	2	4	6		6
藤田保健衛生大		1	1	6		6	3		3
酪農学園大				1		1	2		2
獨協大	2		2				2		2
文教大	2		2	2		2			
学習院大	3		3	2		2			
北里大	3	1	4	4	2	6	3		3
国際基督教大	1		1						
順天堂大	5		5	1		1			
成城大	4		4	2	2	4			
帝京大	2		2				7		7
東海大	7	1	8	3	1	4	10		10
津田塾大	3		3						
東京女子大	5		5	1		1	2		2
日本女子大	2		2	3		3	4		4
東京都市大	8		8	2		2	4		4
神奈川大	6		6	6	1	7	4		4
岐阜聖徳学園大	4		4	1		1	3		3
愛知医科大				3		3	1		1
豊田工業大							1		1
名古屋女子大	4		4	1		1			
椋山学園大	1		1	8		8			
日本福祉大	1		1	1		1	11		11
京都産大	5		5				1		1
京都女子大	5		5	8		8	4	2	6
同志社女子大	3		3	8		8	1		1
龍谷大	6		6	3	2	5	3		3
関西外大	6		6				2		2
気象大学校							1		1
防衛大学校									
防衛医科大				1	1		1	1	2
海上保安大学校							1		1
水産大学校	2		2	1		1			

医学部医学科 (2,3と重複掲載)	平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国公立	1	4	5	8	3	11	3	3	6
私立(含自治医等)	1		1	2	1	3	2		2

※推薦・AO・補欠合格等を含みます。
 ※私立総合計欄は、表記以外のすべての私立大学合格を含みます。

西山賞受賞者

西山賞とは「全国レベルで特
に優れた業績・功績を挙げた生
徒」に対して、四部門別（文化
芸術部門、スポーツ部門、善行
部門、科学部門）に同窓会から
卒業時に授与されるものです。

中 等 部

- ▼文化芸術部門
弦楽部（8名）
TBS「こども音楽コンクール」
東日本優秀演奏発表会
最優秀賞 全国大会（文部科学
大臣奨励賞選考会） 出場
坪井 優汰（中3）
全国中学生創造ものづくり教育
フェア ロボコン 3位
塚越 貴也（中3）
全国中学生創造ものづくり教育
フェア ロボコン 3位
鈴木 唯月（中3）
全国中学生創造ものづくり教育
フェア パソコン入力コンク
ル 出場 23位
高田 侑理加
平成28年（中3）第37回全日本
リコーダーコンテスト 三重奏
出場予定（3月下旬全国大
会）
加藤 寛子
平成28年（中3）第37回全日本
リコーダーコンテスト 三重奏
出場予定（3月下旬全国大会）
齋藤 晴香
平成28年（中3）第37回全日本
リコーダーコンテスト 三重奏

▼スポーツ部門

- 中村 満ちる
平成27年（中3）全国中学校水
泳競技大会 女子400mメド
レーリレー 出場
柳澤 佳月
平成27年（中3）全国中学校水
泳競技大会 女子400mメド
レーリレー 出場
桑原 佳奈美
平成27年（中3）全国中学校
水泳競技大会 女子400m
メドレーリレー 出場、女子
100m平泳ぎ 出場
丸山 拓海
平成26年（中2）第41回全国中
学生テニス選手権大会 団体戦
出場
鈴木 遥斗
平成26年（中2）第41回全国中
学生テニス選手権大会 団体戦
出場

高 等 部

- ▼スポーツ部門
宮城 辰郎
平成26年（高2）日本ユース
陸上競技選手権大会 男子
100m 4位
鈴木 美帆 棒高跳び
平成25年（高1）日本ユース陸
上競技選手権大会 出場
上競技選手権大会 出場
平成26年（高2）日本ユース陸
上競技選手権大会 出場
平成27年（高3）全国高校選抜
陸上競技大会 出場
武藤 直子 800m
平成25年（高1）全国高校総合
体育大会 出場
平成26年（高2）全国高校総合

体育大会 出場
平成27年（高3）全国高校総合
体育大会 出場
見野 謙太郎
平成26年（高2）第26回全国高
校選抜ボート競技大会
男子舵手付きクオドルプル
7位（入賞）
平成27年（高3）第63回全国高
校総合体育大会ボート競技
男子舵手付きクオドルプル
準々決勝進出（いずれも副主将
として出場）

宮野 忠勝
平成26年（高2）第26回全国高
校選抜ボート競技大会
男子舵手付きクオドルプル
7位（入賞）
平成27年（高3）第63回全国高
校総合体育大会ボート競技
男子舵手付きクオドルプル
準々決勝進出（いずれも副主将
として出場）

山下 正紘
平成26年（高1）JOCジュニ
アオリンピックカップ全国エア
ロビック選手権大会
ユース2男子シングル部門優勝
大会最優秀選手賞受賞、文部科
学大臣賞受賞
平成26年（高2）
SUZUKI WORLD CUP
2014
第25回世界エアロビック選手権
大会 AG2男子シングル部門
準優勝
袴田 真那
平成26年（高2）第33回全国高
等学校弓道選抜大会
個人競技の部 準決勝進出

体育大会 出場
平成27年（高3）全国高校総合
体育大会 出場
見野 謙太郎
平成26年（高2）第26回全国高
校選抜ボート競技大会
男子舵手付きクオドルプル
7位（入賞）
平成27年（高3）第63回全国高
校総合体育大会ボート競技
男子舵手付きクオドルプル
準々決勝進出（いずれも副主将
として出場）

「平成29年度静岡県立浜松西高等学校・同中等部の入学者選抜」について(予定)

	中 等 部	高 等 部
募集定員	160名(4学級)	80名程度(2学級)
選抜資料	総合適性検査、作文、面接、調査書等	調査書、学力検査、面接、実技検査及び作文 (実技検査及び作文については、「体育的活動」に関する裁量枠希望者のみ)
実施期日	平成29年1月7日(土)総合適性検査、作文	平成29年3月3日(金)学力検査、作文 (作文については上記希望者のみ)
	平成29年1月8日(日) 面接	平成29年3月6日(月)面接、実技検査 (実技検査については上記希望者のみ)

※お知り合いの方々にお知らせください。

編 集 後 記

- ◆編集作業は大変でしたが面白
かったです。(S)
- ◆何気に変なところがありました。(S)
- ◆何気に大変変なところがありました。(N)
- ◆編集委員にご興味ある方、ど
うぞ同窓会Eメールまでご連
絡ください。(C)
- ◆取材する立場が取材されること
になりびっくりしました。(T)
- ◆二回目の編集委員、板について
きましたよ。(H)
- ◆編集を通じて、今年も母校の絆
を実感しました。(O)
- ◆新春の集い幹事年から早九年、
来年やると十年。おかげさまで
たくさんの方と繋がりが、感謝の
気持ちでいっぱいです。(Y)

会 報 編 集 委 員

- 左右田丈夫 (中19回)
- 小田木基行 (高22回)
- 編集委員長 岩渕 千江 (高39回)
- 編集副委員長 山本 優美 (高40回)
- 大隅 康人 (高40回)
- 村上 樹美 (高45回)
- 大石 諭 (高45回)
- 原野扶有美 (高46回)
- 落合 優 (高46回)
- 岡田 佳久 (高48回)
- 野寄 晴義 (高49回)
- 笹田浩太郎 (高49回)